

# THE INFLUENCE OF STRAIN AND THE EFFECT OF VACCINATION ON THE CLINICAL SIGNS OF LOW PATHOGENIC H6N2 AVIAN INFLUENZA VIRUS IN COMMERCIAL LAYERS

## コマーシャル採卵鶏における低病原性 H6N2 インフルエンザウイルスの株の影響と臨床徴候に対するワクチンの効果

Nancy Reimers, Carol Cardona

ノースカロライナ州立大学 獣医学部

カリフォルニア大学 集団保健生殖学科

### 要約

ワクチン未接種の 34 鶏群の疫学調査により、宿主株によって生産上の損失の大きさと死亡率増加に影響があることが判った。C 株では、生産性と死亡率がもっとも大きく変化したが、A 株と B 株では発症に対する抵抗力が強く見られた。さらに 6 鶏群で、初年鶏時にワクチン接種を行なった。これらの鶏群はワクチン未接種の 34 鶏群に比較して、生産性の低下の幅が有意に小さくなり、死亡率はほとんど変化しなかった。ワクチン接種によって、感染農場内でのワクチンに拡散も遅くなったようであった。

この H6N2 感染で見られた臨床徴候の主なもの、産卵数の低下と死亡鶏の増加であった。呼吸音の増加と摂食量の低下が、一貫せずに見られた。我々が生産者に尋ねたところ、このウイルスに伴う症状についての過去の報告が今回も確認された。

(本稿の完全版は、『Avian Pathology』掲載のための審査に提出する予定である。)